

普及活動情勢報告（平成31年2月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

生産者が丹精込めた柑橘類がズラリ！ ～第1回JA土佐市地区柑橘果実展示品評会～



最終選考中の審査員

1月31日に第1回JA高知県土佐市地区柑橘果実展示品評会がとさし営農経済センターみのり館で開催され、土佐文旦51点、不知火4点の計55点の出品がありました。

農業改良普及課は、審査員の一員として、果実外観や品質について審査基準に則り、厳格に審査しました。

今年の土佐文旦の特徴は、やや糖度が低いものの、酸の抜けが良く、肉質が柔らかく多汁で、バランスの良い果実に仕上がっていました。

審査の結果知事賞には、辻幸信さんの土佐文旦が選ばれました。

いの町はショウガ発祥の地！ ～農大生ショウガPR郷土料理講習会～



料理は僕に任せて！！

2月30日に、伊野町生活改善グループ連絡協議会が、ショウガクラスターの一環として、いの町すこやかセンターにおいて、農業大学の学生23名にショウガPRや郷土料理講習会を開催しました。

農業改良普及課は、開催に向け農大やグループとの打合せを重ね、支援してきました。また、役場はショウガ発祥の地としての町のPRを行いました。

当日は、グループ員が班に分かれ、指導をすると共に試食時にはぎやかに味の感想や学校、将来のことなど聞きながら、すすめることが出来ました。

今後も農業改良普及課は、ショウガPRの支援をしていきます。

より良い酒米作りを目指して ～酒米栽培反省会～



自分たちの酒米からお酒に

2月14日に「土佐市吟の夢栽培技術研究会」では、酒米栽培反省会を開催しました。

はじめに、土佐市の酒米も原料としている酒造工場を視察し、その後、中央西農業振興センターにて、酒米の品質や今年度の酒米収量と栽培管理等について協議しました。新規生産者からは、「去年は土佐市の栽培暦で栽培した。今年は各自の水田に応じた栽培を行い、みんなで検討したい」と積極的な意見が出ていました。

今後も農業改良普及課は、施肥設計から収量等の分析について支援をしていきます。

農業経営の安定に向けて ～新規就農者の就農状況確認～



2月11日に土佐市の農業関係機関で、新規就農者の就農状況の確認を行いました。

ほ場で栽培状況を確認し、生産者と面談を行いました。栽培状況、経営収支、今後の計画等聞き取り助言指導を行いました。

去年の作は、害虫被害等で経営が厳しい状況でしたが、今年はお荷も良好で「害虫に気を付けながらやっていきたい」と意気込んでいました。

農業改良普及課は、病虫害の防除等含め農業経営が安定するように支援を行っていきます。

ほ場で栽培状況の確認	
------------	--